

FAB vol.4 2023 CONTENTS

公刊の辞	1
論文	
メモリアル・ファッション——戦災・震災の展示と芸術実践から考える喪の作業 田中雅一／寺戸淳子／丹羽朋子／河西瑛里子	3
ベルギー系ファッション・デザイナーの原点とは？ アントワープ王立芸術アカデミーにおけるファッション教育 三木勘也	34
The Dawn of Russian Youth Culture in the Post-Soviet Era: An Aesthetic Study on Gosha Rubchinskiy 藤沢亮太郎	66
ワードローブからみるファッションイメージとカラー傾向——服飾学生の事例から 松岡依里子／倉内尚士	88
単色の色彩商標の保護可能性——ルブタン「レッドソール」は保護すべきか？ 西村雅子	105
フランス絶対王政期における男性のかつらと帽子 平野 大	123
「トレンド感性分類」の美学論的アプローチ エドモンド・バークの趣味論にもとづいて 平野 大	143
賭事をめぐる日英比較文化 山本雅男	157
現代のイギリスにおけるヒーラーたちのヒーリング 河西瑛里子	170
「アヴァロン」と「グラストンベリー」——聖地にみられる二面性 河西瑛里子	188
現代日本における動物倫理の議論——「供養」という連環的死生観に注目して 小澤茉莉	201
研究ノート	
持続可能なアート・コレクティヴの実践 《ルル学校》と「ドクメンタ 15」から考える 廣田 緑	213

特集

メイド・イン・ジャパンのものづくり	金谷美和／丹羽朋子	228
序・メイド・イン・ジャパンのものづくりを考える	宮脇千絵	229
地域文化商社として服・店・情報・ツーリズムを総合力で伝達	白水高広	234
「メイド・イン・ジャパン」が意味するものはなにか？ フランスにおいて流行する「日本製」の衣服を事例に	高馬京子	245
コメント（1）メイド・イン・ジャパンの価値	蘆田裕史	251
コメント（2）ジーンズ産地、倉敷市児島から考える「メイド・イン・ジャパン」	池上慶行	255
コメントへの応答とディスカッション	金谷美和	263

報告

共同研究「東海地域における養蚕業の再興に関する学際的研究」の報告 高間由美子／安念真衣子／大島一豊／奥村 潔／守屋孝典	273
共同研究「静岡県天龍社繊維産地における別珍・コール天生地製造関連企業の研究」の報告 篠原航平	281
ファッションとファッション産業の課題と適応 共同研究「SDGs と大阪・関西万博、ファッションにできることは」の報告 富澤修身	283
個展《絶滅種：僕たちが昭和に残した永遠》 今村 淳	288
プレ研から臨地実習へ——名古屋キャンパスによる学びの挑戦 大島一豊／高間由美子	291

展覧会評

戦後日本のクラフト・デザインを支えた女性 「中上良子——陶磁器デザイナー・エマイユ作家として」展	廣田 緑	301
東京タロット美術館でファッションと魔術について考える	河西瑛里子	309

書評

高木陽子・高馬京子編『越境するファッション・スタディーズ ——これからファッションを研究したい人のために』	平野 大	315
奥山雅之・加藤秀雄・柴田仁夫・丹下英明編 『繊維・アパレルの集団間・地域間競争と産地の競争力再生』	篠原航平	319
菅付雅信著『不易と流行のあいだ——ファッションが示す時代精神の読み方』	高橋幸治	323
廣田緑著『協働と共生のネットワーク——インドネシア現代美術の民族誌』	金谷美和	327
石井美保・岩谷彩子・金谷美和・河西瑛里子編 『官能の人類学——感覚論的転回を越えて』	関根麻里恵	330

紹介

Yorozuya Yohaku and Ramona du Houx <i>Coastal Maine in Words and Art: Gallery Fukurou's Reflections by Maine Writers, 2019</i>	山本雅男	334
---	------	-----

臨地実習Ⅱ 報告		338
東京キャンパス		339
大阪キャンパス		355
名古屋キャンパス		382

共同研究報告

ファッション教育の比較研究	田中雅一	389
ファッションとアートの連環にみるモードの変遷の研究	今村 淳	390

投稿規程・編集委員会		391
------------	--	-----

編集後記		393
------	--	-----

